様式第４号（第６条関係）

議　事　概　要

審議会等の名称	平成30年度　第１回　土浦市図書館協議会
公開・非公開の別	公開
開　催　日　時	平成30年８月２日（木）午後１時30分から
開　催　場　所	土浦市立図書館　研修室３・４
出　席　者	委員６名，事務局６名
議　題	（１）会長・副会長の選出 （２）平成29年度事業報告について （３）平成30年度事業計画について （４）その他 ・新図書館開館に伴う利用状況等について ・第２次土浦市立図書館サービス計画の策定について
議　事　結　果	（２）平成29年度事業報告について ・リサイクルブックマーケット実施の内容について，除籍した本は，どのように調整した本をリサイクルブックマーケットに出して，どうやって販売しているのでしょうか。 ⇒リサイクルブックマーケットの除籍した本については，土浦市立図書館資料収集および保存に関する方針により，資料をリサイクルに回すか廃棄するかの判断をしています。なお，リサイクルブックマーケットの本は，ラベルの上に除籍資料のシールを貼り，図書館の除籍資料と分るようにしてから，リサイクルブックマーケットに出しています。また，リサイクルブックマーケットの本は，全部無料で差し上げています。 ・図書館の除籍する本について，現在インターネットを通じて２次的なマーケットが形成されており，無料で差し上げた

	本がインターネットで買取りされているなど，今のリサイクルブックマーケットでは課題があると思われます。 ⇒通常，公共図書館の除籍シールが貼ってあると，買取りがなされないと確認をしていましたが，インターネット上の買取りについては，いままで検討していませんでした。そのため，これから研究をしていきたいと思います。 ・貸出状況について，雑誌の貸出数だけが落ちているのは，どうしてなのでしょうか。新図書館になって，雑誌のタイトル数がすごく増えたと聞いてますが，どうして少いのか，教えていただきたいと思います。 ⇒雑誌の貸出状況については，図書館の場所が良くなったことが考えられ，立寄り型になった使い方，電車の待ちなどの使い方ということで，貸出というより館内閲覧が増えたからと思います。あと，300 タイトルのうち 200 タイトルは，新図書館から購入したもので，最新刊は貸出が出来ませんので予約となり，バックナンバーが新しい月刊誌ですとまだ少なかったので，貸出を出来るものが少なかったのかと思います。 （３）平成 30 年度事業計画について ・子ども図書通帳サービスの導入について，どういったものでしょうか。 ⇒図書通帳を作成し，貸出本のバーコードを読み込むことによって，通帳に印字が出来るサービスとなっております。なお，図書通帳には，貸出期間中のみ印刷することが出来ます。 ・図書通帳機について，各分館に設置されるのでしょうか。 ⇒図書通帳機については，中央館のみ設置されます。しかし，分館で本を借りでも，その貸出期間中でしたら，中央館で図書通帳に印刷することが出来ます。 ・図書館での自主講座について，土浦市は非常に歴史があるところなので，郷土資料を活用した講座が考えられると思っています。今後，郷土資料を使った講座を，開催する予定はあ

	るのでしょうか。 ⇒郷土資料を活用した自主講座については，市立博物館と連携するような，土浦市の歴史関係の講座など，ニーズを探りながらやっていきたいと考えています。 （４）その他 ・新図書館は，来館者数が順調で，期待以上にあったという理解でよろしいでしょうか。 ⇒当初，想定来館者数は，平日休日の平均 1,000 人と考えていましたが，平均約 1,800 人が来館しており，２倍近い数字になっているということで，今のところは順調に利用されていると思っています。 ・インターネット利用者数 3,638 人について，館内に設置している端末の利用者数でしょうか。また，館内では Wi-Fi や無線 LAN の利用も可能なのでしょうか。 ⇒インターネット利用者数は，図書館内に８台設置している，パソコンでの利用者数です。また，全館内で Wi-Fi が使える状況になっております。 ・オンラインデータベースについて，新図書館になって導入されたばかりですが，これは使ってみないと，価値が分らないものだと思います。今後，利用者向けの講座などあるのでしょうか。 ⇒オンラインデータベースについては，講座を開催したいと考えております。 【その他意見】 ・課題解決支援サービスについて，このサービスを実現することは，簡単ではありません。例えば，健康を対象としたサービスにしても，病院や福祉機関との連携が必要になります。それに，地域のなかには，様々な方の様々なニーズがあるのに，どうして図書館がこのサービスなのか，どのような対応ができるかを明確にしないといけないです。 ・行政支援サービスについて，市職員の利用したい内容と，実際のサービス内容が離れている現実があります。また，庁内Ｌ

	ＡＮなどで活用してもらうには，同様のサービスがある都立図書館などの例でも，相当に広報活動を行わないと，職員からは利用されなかったようです。それに，都道府県立クラスのレファレンス対応が出来ないと，市町村立クラスのレファレンスでは難しいと思います。 ・これまで図書館は，健康や法律，行政など，講座や支援サービスなどの様々なものをやってきました。しかし，どれも本気でしっかりやれば大変なことです。本当のところは，図書館の持っている資料で出来る範囲で現実的にやっていく，そういった環境をつくっていくことが課題だと思います。
審議会等の事務局	土浦市立図書館　管理係 電話　029-822-3025 FAX　029-822-3316